



# 2022 年は全国で過去最多！

## 梅毒

令和 5 年 11 月 8 日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

### 感染症発生動向速報

(令和 5 年第 44 週分・10 月 30 日～11 月 5 日)

#### 《インフォメーション》

##### ●梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマ（細菌）を原因とする感染症です。主に、菌を排出している感染者との性的接触によって感染します。梅毒トレポネーマが粘膜や皮膚に感染すると、平均して約 3～6 週間の潜伏期間を経て、感染部位に初期硬結（しこり）や硬性下疳（硬結部位を中心に生じた潰瘍）が現れます（**I 期顕症梅毒**）。その後、数週間から数か月経過すると、全身の皮膚や粘膜に発疹が現れます（**II 期顕症梅毒**）。この I 期および II 期を**早期顕症梅毒**と呼びます。無治療でも症状は自然に軽快しますが、病態が進行中の可能性もあるため、医療機関の受診が重要です。無治療のまま放置した場合、感染が神経や脊髄までに及ぶ神経梅毒が生じる等、重症化のリスクが高まります。さらに、感染から数年後には皮膚や骨にゴム腫や心血管梅毒、後期神経梅毒が現れることがあります（**晩期顕症梅毒**）。また、妊娠している人が梅毒に感染すると、流産および死産、胎盤を通じた胎児への感染（**先天梅毒**）が懸念されます。

全国の梅毒患者報告数は 2010 年頃から増加し、2018 年にピーク（7,007 件）を迎えました（図；折れ線グラフ）。その後、2020 年にかけて一旦減少しましたが、2021 年以降には再度増加に転じ、2022 年には過去最多（13,221 件）となりました。2023 年の報告数（11/1 時点）は 12,434 件となり、今後の動向には注視していく必要があります。富山県の報告数は、2010 年以降全国と同様に増加しており、2021 年には 48 件と過去最多となりました（図：棒グラフ）。その後、2022 年において報告数はほぼ横ばいで推移し、2023 年においては第 44 週時点で 20 件報告されています。

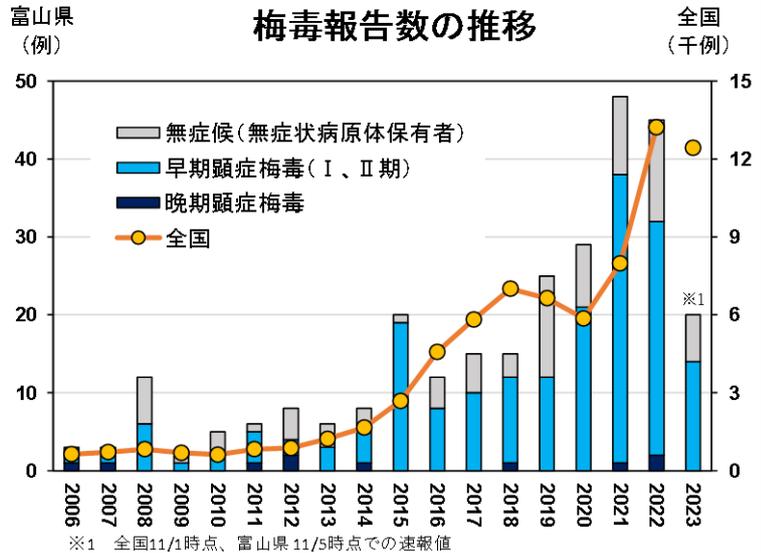
梅毒の初期症状である性器の潰瘍など、異変に気づいた場合には早めに医療機関を受診しましょう。感染が判明した場合、パートナーも感染している可能性があるため、早めの受診を勧めましょう。感染予防としては、不特定多数との性行為を避けることが重要です。また、適切なコンドームの使用が不可欠です。梅毒はペニシリン系抗菌薬による治療が可能な感染症ですが、4～8 週間の抗菌薬投与後に抗体検査によって治療効果を確認する必要があるため、自己判断で治療を中断しないことが重要です。

#### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1 件（第 43 週診断分：80 歳代、女性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件（20 歳代、女性、O157、VT1VT2）
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（40 歳代、女性）

#### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	インフルエンザ	8.06 (↑)	5.67
2 位	咽頭結膜熱	3.90 (↑)	2.62
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.79 (↑)	3.28
4 位	COVID-19	2.69 (↓)	3.46
5 位	感染性胃腸炎	2.59 (↓)	2.93
6 位	手足口病	1.55 (↓)	1.62



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第44週 令和5年10月30日～令和5年11月5日）

分類	疾患	今週報告分（第44週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核						5	6	24	6	59	100	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1	1		3	3	16	23	
	四類感染症	オウム病									1			1
		日本紅斑熱											1	1
		レジオネラ症							4	1	15	1	11	32
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
		ウイルス性肝炎									1			1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									11	2	12	25
		急性脳炎										1	2	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	5	12
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	8	12
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1		2	5	2	12	21
		水痘（入院例）								1		1	4	6
		梅毒									3	3	14	20
		播種性クリプトコックス症							1					1
破傷風										1			1	
百日咳												4	4	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	31	27	97	42	190	387	898	1,462	3,866	1,311	5,130	12,667
		COVID-19（※1）	4.43	5.40	7.46	6.00	11.88	8.06						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	27	3	38	7	54	129	1,753	1,111	3,122	1,546	2,890	10,422
		COVID-19（※1）	3.86	0.60	2.92	1.00	3.38	2.69						
		RSウイルス感染症	1	1	1		4	7	80	121	651	259	591	1,702
		咽頭結膜熱	0.25	0.33	0.13		0.40	0.24						
		咽頭結膜熱	9		68		36	113	91	54	511	46	289	991
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25		8.50		3.60	3.90						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	40	2	63	110	83	33	1,136	31	1,011	2,294
		感染性胃腸炎	0.50	1.00	5.00	0.50	6.30	3.79						
		感染性胃腸炎	13	6	7	2	47	75	853	799	1,366	955	4,684	8,657
		水痘	3.25	2.00	0.88	0.50	4.70	2.59						
		水痘			1		1	2	4	21	43	6	58	132
	手足口病			0.13		0.10	0.07							
	手足口病		4	24	1	16	45	56	106	469	200	350	1,181	
	伝染性紅斑		1.33	3.00	0.25	1.60	1.55							
	伝染性紅斑							1		2		6	9	
	突発性発しん		1	5			6	15	31	113	31	84	274	
	突発性発しん		0.33	0.63			0.21							
ヘルパンギーナ	2	3	1		3	9	121	143	816	104	571	1,755		
ヘルパンギーナ	0.50	1.00	0.13		0.30	0.31								
流行性耳下腺炎					1	1	1	2	11	4	15	33		
流行性耳下腺炎					0.10	0.03								
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			2	1	1	4	4	2	34	2	9	51	
流行性角結膜炎			1.00	1.00	0.50	0.57								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1	1	2	
	マイコプラズマ肺炎									8			8	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）				1	2	3			4	2	5	11	
	COVID-19による入院患者（※3）	2		4	3	5	14	10	39	10	27	55	141	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。  
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

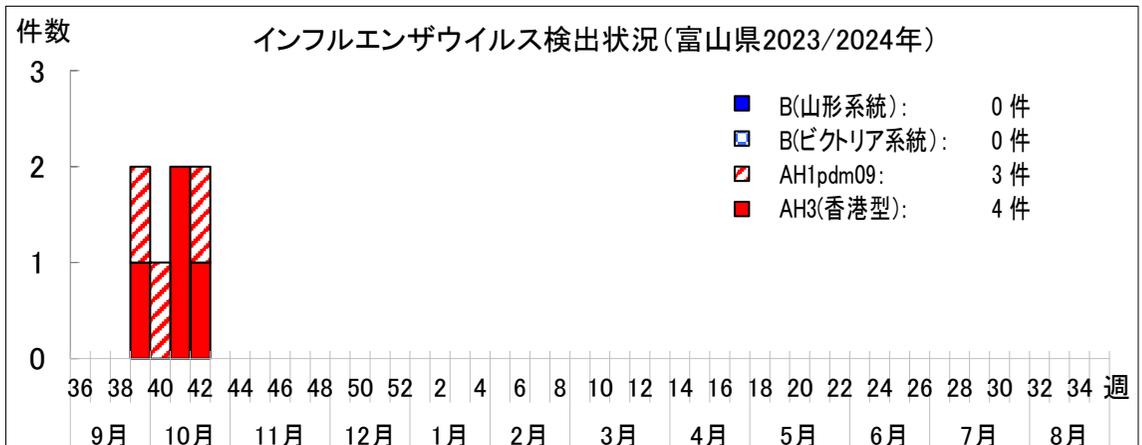
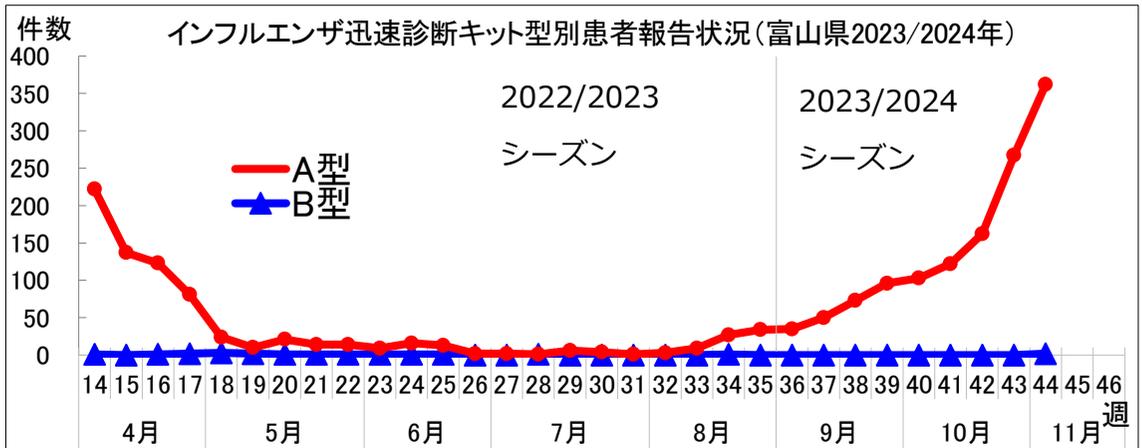
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が93.5%となっています。

### 第44週(10/30~11/5)：富山県 8.06人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	31	0	0	31
中部	5 / 5	20	0	7	27
高岡	12 / 13	97	0	0	97
砺波	6 / 7	42	0	0	42
富山市	13 / 16	172	2	16	190
富山県	41 / 48 <sup>※1</sup>	362	2	23	387
富山県累計(2023年36週~)		1,270	2	37	1,309

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が41か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





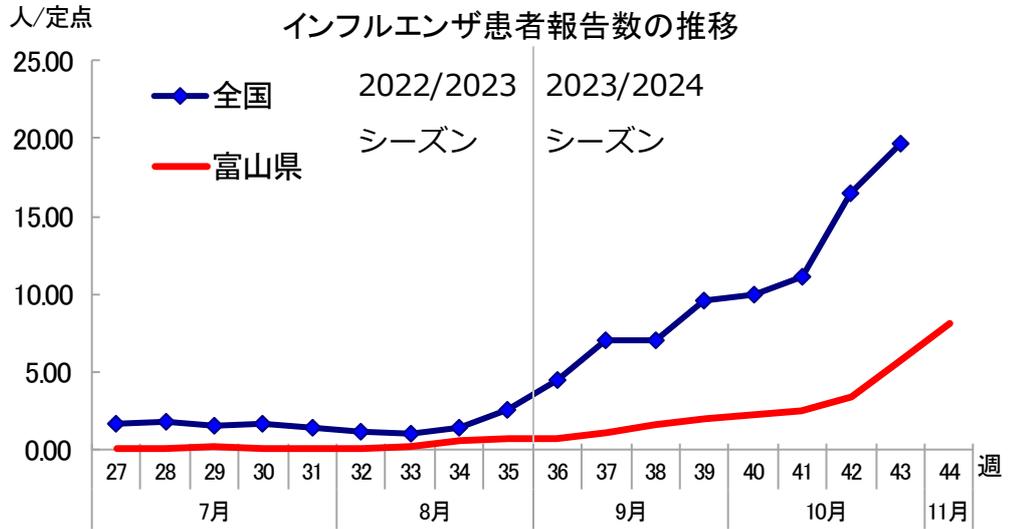
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第44週 (10/30~11/5) : 富山県 8.06 人/定点

新川 HC (4.43)、中部 HC (5.40)、高岡 HC (7.46)、砺波 HC (6.00)、富山市 HC (11.88)

全国のインフルエンザ患者報告数は、19.68 人/定点となり、前週と比較して増加しています。

県内の患者報告数は 8.06 人/定点となり、全国と同様に増加しています。

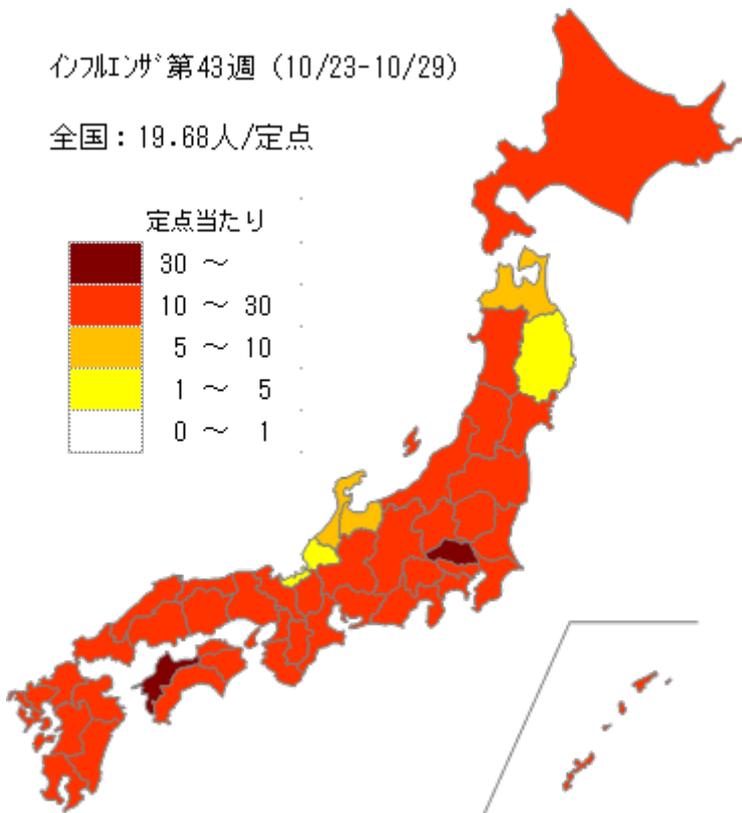
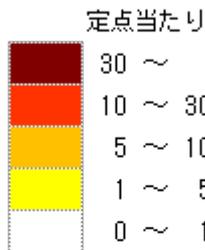


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第43週 (10/23~10/29)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 19.68 人となり、前週の 16.43 人より増加しました。44 道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ 第43週 (10/23-10/29)

全国：19.68人/定点



都道府県	人/定点	変化	都道府県	人/定点	変化
北海道	19.58	↑	滋賀県	11.82	↑
青森県	8.28	↑	京都府	14.75	↑
岩手県	4.63	↑	大阪府	12.65	↑
宮城県	16.33	↑	兵庫県	24.95	↑
秋田県	16.31	↑	奈良県	12.67	↑
山形県	10.14	↑	和歌山県	12.35	↑
福島県	28.93	↑	鳥取県	22.86	↑
茨城県	19.49	↑	島根県	13.76	↑
栃木県	14.66	↑	岡山県	12.30	↑
群馬県	16.39	↑	広島県	14.58	↑
埼玉県	33.08	↑	山口県	21.51	↑
千葉県	29.25	↓	徳島県	11.70	↑
東京都	19.91	↓	香川県	16.91	↑
神奈川県	22.80	↑	愛媛県	51.46	↑
新潟県	12.12	↑	高知県	23.66	↑
富山県	5.67	↑	福岡県	20.47	↑
石川県	8.92	↑	佐賀県	20.62	↑
福井県	3.95	↑	長崎県	19.27	↑
山梨県	29.56	↑	熊本県	14.96	↑
長野県	23.03	↑	大分県	21.79	↑
岐阜県	18.02	↑	宮崎県	11.95	↑
静岡県	22.64	↑	鹿児島県	16.57	↑
愛知県	26.35	↑	沖縄県	14.72	↓
三重県	13.23	↑	全国	19.68	↑